

<p>1. 設計手法</p> <p>建築士は、新たにつくる建築物について、長期間の使用に耐えるように建築計画の初期段階から十分に検討を行い、完成した後も継続的に適正な維持管理が行われるように配慮する必要がある。</p> <p>建築士は、報酬を得る建築物の調査及び鑑定のみを業として行う場合でも、建築士事務所所属しなければならない。</p> <p>建築士は、違反建築物の建築等の法令違反行為について、指示をする、相談に応じる等の行為をしてはならない。</p> <p>建築士は、設計者ではなく施工者として建築基準関係規定に違反する工事を行った場合であっても、建築士法により業務停止処分を受けることがある。</p>
<p>2. 日本建築史作品</p> <p>東三条殿(平安時代)などの寝殿造りは、柱は丸柱とし、寝殿の周囲には葺(しとみ)戸を吊り、床は板敷きであったといわれている。</p> <p>鹿苑寺金閣(室町時代)は、最上層を禅宗様仏堂風、中間層を和様仏堂風、初層を住宅風とした三層の建築物である。</p> <p>光浄院客殿(安土桃山時代)は、数寄屋風の建築物ではなく、桁行7間、梁間6間の主殿造りである。</p> <p>旧開智学校校舎(明治時代)は、アーチや隅石等の洋風の意匠と唐破風等の和風の意匠が混在した擬洋風の建築物である。</p>
<p>3. 西洋建築史作品</p>
<p>4. 周辺環境</p> <p>災害時に防災拠点となる庁舎において、仮設修復現場としての利用やガラス落下防止等のために、建築物外周にバルコニーを設ける計画とした。</p> <p>浸水深さを5mと想定した沿岸型の災害拠点建築物において、1・2階の外壁の大部分をガラスカーテンウォールとして津波被災時には破壊・脱落させ、4階以上の重要な拠点部分の機能を守る計画とした。</p> <p>高層の集合住宅に設ける備蓄倉庫は、避難階のほかは、100住戸ごとに、かつ、いずれの階からも4層以内の位置に計画した。</p> <p>避難場所のマンホールによる仮設トイレは、避難者100人当たり1〜2基を目安とする。</p>
<p>5. 各部寸法</p> <p>外壁に設置する排気口や給気口の防水が難しいので、ダクトを外壁に向かって下がり勾配とし、侵入した雨水を排出できるようにした。</p> <p>カーテンウォール工場のフィールドジョイント構法は、外壁の接合部をシーリング材でふさぎ雨水侵入を防止する。</p> <p>地震時の躯体の層間変位を考慮して、上部又は下部のファスナーをスライドさせて追従させるパネル方式のメタルカーテンウォールを採用した。</p> <p>外装にカーテンウォールを使用するに当たり、シーリング材の耐久年数は、外壁の耐久年数よりも短いことが多いので、雨水が侵入した場合の排水機構を設けた。</p> <p>公共体育館の計画において、成人用バスケットボールコートを手前配置するため、床面の内法寸法を、40m×50mとした。</p> <p>屋内の公式試合用の硬式テニスコートについて、ネット上部の天井高を、13mとした。</p> <p>競技場の観客席の固定座席の計画において、座席の幅(1人分の間口)を45cmとし、前後間隔(椅子の背の間隔)を85cmとした。</p> <p>屋内駐車場の一方通行での小型自動車の車路は、車路に接して駐車料金の徴収施設がある場合、歩行者の通行部分を除き幅員2.75m以上とする。</p>
<p>6. バリアフリー</p> <p>幅150cmの屋内廊下に面して設けた障害者等が利用する居室の出入口は、有効幅員を90cmとした。</p> <p>オストメイト用設備を有する便所において、汚物流しの近くに着替え台を設けた。</p> <p>車椅子使用者用の観覧席は、複数の車椅子使用者が利用できる専用スペースとして、異なる場所に分散して2箇所設けた。</p> <p>高齢者の視界は、黄変化する傾向があるので、黄変化後も見分けやすい輝度比1.5〜2.0を採用する。</p>
<p>7. 都市計画作品</p> <p>青森県黒石市では、中町の「こみせ」と呼ばれる降雪や日差しを避けて通れるようにした木造の軒下の歩廊が続く町並みを、伝統的建造物群保存地区に指定し、保存に取り組んでいる。</p> <p>静岡県掛川市では、「生涯学習都市宣言」を行い、その一環として官民が協力し、地区計画を定めて掛川城の城下町としての歴史を活かした城下町風まちづくりを推進している。</p> <p>岡山県倉敷市では、本瓦葺塗屋造りの町屋、土蔵造りの蔵、白漆喰になまこ塀が建ち並ぶ倉敷川畔を「美観地区」とし、景観の保全を図っている。</p> <p>鹿児島県南九州市の知覧では、江戸時代に鹿児島藩が領地内で設けた麓(ふもと)と呼ばれる家臣の武家集落である。</p>
<p>8. 都市計画論</p> <p>歩行者モールは、歩行者専用のフルモール、路面電車やバスを通行させるトランジットモール、一般車両の乗り入れも可能なセミモールに分類される。</p> <p>キスアンドライドは、出発地から公共交通機関の乗降所(駅やバス停等)まで家族等が自動車で送迎する交通形態のことである。</p> <p>BRTは、バス専用道路などを活用して高い定時性を確保し、連節車両を用いることや停車時間短縮の工夫を取り入れること等により、高い輸送能力を確保するバス交通システムである。</p> <p>プリンジパーキングは、都市中心部の周辺に駐車場を整備し、そこから公共交通機関等により都市中心部までアクセスするシステムであり、都市中心部への車の流入の抑制等を目的とするものである。</p>
<p>9. 住宅・集合住宅施設</p> <p>北側に階段室をもつ階段室型の5階建て集合住宅において、バリアフリー改修のため、北側に廊下棟を増築し、ここに着床するエレベーターを設置するとともに増築した廊下に面して各住戸の新しい玄関を設置した。</p> <p>既存の集合住宅をサービス付き高齢者向け住宅とするため、バリアフリー改修を施し、各住戸専用部分の床面積が25㎡以上となるようにした。</p> <p>分譲集合住宅の共用部分において、形状の著しい変更を伴わない大規模修繕工事について、区分所有者数及び議決権の過半数の決議を経て行うこととした。</p> <p>ラドバーン方式は、人の動線と車の動線が交差しないように、人と車を平面的に分離する手法である。</p>
<p>10. 住宅・集合住宅作品</p> <p>同潤会江戸川アパート(東京都、1934年)は、社交室、共同浴場、食堂、洗濯場等の付帯施設を有する集合住宅として計画された。</p> <p>モモンシティ星田A2(大阪府、1992年)は、敷地内の緩斜面を活かした緑道の配置や、塀・門を極力設けない外構計画等により、連続した開放的な外部空間を創り出した戸建ての住宅団地として計画された。</p> <p>幕張ベイタウンパティオス4番街(千葉県、1995年)は、都市デザインガイドラインに基づく壁面線の位置や高さ等を異なる意匠に誘導されている。</p> <p>釜石・平田地区仮設住宅団地(岩手県、2011年)は、東日本大震災の復興支援の一環として建設されたコミュニティケア型仮設住宅団地であり、診療所付きのサポートセンターや仮設店舗が計画された。</p>
<p>11. 事務所・商業施設</p> <p>基準階の平面計画では、熱負荷の影響を軽減するため、東西面にコアを配置して窓を減らすことが有効である。</p> <p>防災計画上の避難経路は、日常動線に配慮し、第1次安全区画である廊下から第2次安全区画である特別避難階段の付室を通じて、特別避難階段に避難できるように計画した。</p> <p>エレベーターの運行方式は、建築物を10層ごとに三つのゾーンに分割して各ゾーンにエレベーター群を割り当てるコンベンショナルゾーン方式とした。</p> <p>非常用エレベーターは荷物用エレベーターと兼用することとし、その乗降ロビーは特別避難階段の付室と兼用する計画とした。</p>
<p>12. 公共施設</p> <p>幼稚園と保育所の施設を共用化した認定こども園において、遊戯室、調理室、管理諸室、屋外環境等は幼稚園と保育所の共用の空間として計画した。</p> <p>総合病院での小児患者の病床は、小児の免疫機能が低いことから、診療科ごとではなく小児病棟として設けなければならない。</p> <p>放課後等デイサービス事業所において、屋外遊びを豊かにするために、学校と連携して校庭等を有効に活用した。</p> <p>義務教育学校(小中一貫校)の特別支援学級関係室においては、9年間の系統性・連続性のある教育活動や一貫した支援を効果的に行えるように、小学校と中学校の配置や室構成を計画した。</p>
<p>13. 病院・高齢者施設</p> <p>病棟の患者用トイレの計画においては、トイレを分散して配置するなど、病室とトイレの距離を短くする工夫が必要である。</p> <p>LDRとは、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)を一室で行う方式である。</p> <p>4床病室の計画において、隣り合うベッドとベッドとの間に幅1m以上のスペースを確保するためには、病室面積は32㎡以上が目安となる。</p> <p>回復期リハビリテーションは、疾患に応じ90日から180日をかけて身体の機能や日常生活動作(ADL)の改善を図ることを目的としている。</p>
<p>14. その他作品</p> <p>ジョンソン・ワックス・ビル(アメリカ、1936年)の2層吹き抜けの執務スペースでは、天井付近が広がった樹木状の柱や柱頭まわりの天窓、ハイサイドライトによって、内部に自然を再現している。</p> <p>フォード財団本部ビル(アメリカ、1967年)は、ビル内部に豊かな植栽が施されたアトリウムをもち、各フロアの執務スペースはアトリウムをL字型に囲むように配置されている。</p> <p>丸の内ビルディング(東京都、2002年)の高層階のオフィスゾーンは、31mまでを旧丸の内ビルのファサードを残して、上部が超高層オフィスとなっており、オフィス部にアトリウムはない。</p> <p>ROKI Global Innovation Center(静岡県、2013年)は、執務スペースが階段状に積層する立体的なワンルーム空間に、ガラスをはめこんだ木と鉄のハイブリッドトラスの屋根をかけている。</p> <p>金沢市立玉川図書館(石川県、1979年)は、東側の開架部門と、中庭を挟んで西側にある学習・管理部門を分けることによって、開架部門を気軽に立ち寄り利用できる空間とした図書館である。</p> <p>朝霞市立図書館本館(埼玉県、1987年)は、開架閲覧室を全面ルーバーの光天井とし、中央部にトップライトの八角形吹き抜け空間である。</p> <p>荏田町立図書館本館(福岡県、1990年)は、多様な閲覧席と豊富な資料を備え、開架書架群に沿ってベンチ、和室、屋外読書スペースなどを設けることで、来館者が長い時間を過ごせるように計画した図書館である。</p> <p>ぎふメディアオコスモス(岐阜県、2015年)は、木造格子屋根をもつ市立中央図書館や、市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び展示ギャラリー等からなる複合施設である。</p>

15. 計画各論総合**16. 施工監理**

二級建築士事務所を管理する二級建築士が、一級建築士事務所の管理建築士となるには、一級建築士の免許取得のみが条件となる。

一級建築士事務所において、建築士法で定める重要事項の説明については、管理建築士のほか当該一級建築士事務所に属する一級建築士も行うことができる。

監理技術者は、工事現場での建設工事を適正に実施するため、施工計画の作成、工程管理、品質管理等を行うとともに建設工事の施工に従事する者の技術上の指導監督の職務を誠実に履行する必要がある。

施工管理技士は、施工技術の向上を図るため、建設業者の施工する建設工事に従事し又はしようとする者を対象として行う技術検定に合格した者である。

17. 建築積算

屋外施設において、芝類の数量は種類及び工法ごとに面積を計測・計算するが、芝類の範囲にある排水溝等の面積が1箇所当たり0.5㎡以下のときは、その欠除は、原則としてないものとする。

窓、出入口等の開口部による型枠の欠除は、原則として建具類等の開口部の内法寸法で計算するが、開口部の内法の見付面積が1箇所当たり0.5㎡以下の場合は、原則として型枠の欠除はないものとする。

鉄筋の所要数量は、その設計数量の4%増しを標準とする。

耐火被覆は、耐火被覆材の材種、材質、形状、寸法、工法、耐火時間及び部位(柱、梁)ごとに区分して計測・計算する。

18. マネジメント

建設工事において、コンカレントエンジニアリングとは、設計から施工までの工程にかかわる全ての部門の人材が集まり、工程をオーバーラップさせて諸問題を討議しながら作業を進めていく方式である。

PFI事業において、VFMとは、重要な概念の一つで、支払いに対して最も価値の高いサービスを供給するという考え方のことである。

公共事業において、BTO方式とは、民間事業者が資金調達を行って施設を建設し、完成直後に公共に所有権を移転し、当該民間事業者に一定期間、維持管理及び運営を委ねる方式である。

プロポーザル方式は、対象プロジェクトの設計業務の考え方や技術提案等を求め、インタビュー等で設計者を選定する方式である。